



©石川県観光連盟



能登の復興とこれから

「伝える」から「つながる」へ。

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨
復興祈念シンポジウム



参加費
無料

定員200名

リトリート in 金沢



とき

2026 10/31 土

●開場／12:30～
●開演／13:30～
(16:00終了予定)

ところ

ホテル金沢

4階 エメラルド

石川県金沢市堀川新町1-1 (JR金沢駅東広場から徒歩で約1分)



ゲスト
常盤 貴子

PROFILE

俳優。神奈川県出身。2015年放送のNHK連続テレビ小説「まれ」の撮影をきっかけに能登へ訪れる。震災・豪雨後は炊き出しや泥かきのボランティア、「一人一花運動 in 能登半島」ではアンバサダーを務め、NHK夜ドラ「ラジオスター」への出演など能登との繋がりを大切に継続的な支援を行っている。

能登デスクさんで行く!

能登のいまと
これからを見つめる

日帰り
スタディツアー



能登の旅案内人「能登デスクさん」こと中山智恵子

- 日 時／10月30日(金) 8時～18時30分(金沢駅発着)
- 定 員／30名 (申込多数の場合、抽選)
- 参加費／無料 (昼食代1,800円は自己負担)

詳細は裏面をご確認ください。▶

主催／石川県

「伝える」から「つながる」へ。能登の復興とこれから

甚大な被害をもたらした能登半島地震から2年9カ月、奥能登豪雨から2年が経過しようとしています。本シンポジウムでは、復興に向け歩み続ける能登の「いま」を伝えることで、ともに能登の未来を考え、能登のこれからと「つながる」機会となることを目指します。

第1部

13時30分～14時30分

知事基調報告

能登半島地震・奥能登豪雨からの創造的復興について報告します。

県内大学生による活動発表

能登でのボランティア等の取組、活動を通じて今感じていることなどについて発表します。

- 金沢大学
ボランティアさぽーとステーション

トークイベント

常盤貴子さんの能登での支援の取組や、金沢からできる支援についてお届けします。

俳優
常盤 貴子



【コーディネーター】



TBSアナウンサー
喜入 友浩

第2部

14時40分～16時00分

東北発・若者まちづくり事例報告

これまで災害からの復興に取り組んできた地域の経験や知見に学び、能登の復興に活かせるヒントを探します。

岩手県陸前高田市
認定NPO法人SET 副理事長 **石渡 博之**

パネルディスカッション

【コーディネーター】TBSアナウンサー 喜入 友浩

「伝える」から「つながる」へ。能登の復興とこれからのテーマに、様々な立場のパネリストが能登のいまとこれからの語り合います。



石川県知事
山ノ 義之

金沢市出身。ソフトバンク㈱、金沢市議、金沢市長を経て2026年3月より現職。県政運営の基本に「現場主義」を据え、現場の声を真摯に伺いながら能登の創造的復興に取り組む。



和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会 代表
多田 健太郎

七尾市出身。2015年、老舗旅館「和倉温泉 多田屋」代表取締役社長就任。能登半島地震以降、策定した復興ビジョンに基づき、和倉・能登の地域一体での再生に取り組む。



株式会社鶴野酒店 杜氏
鶴野 薫子

能登町出身。2014年にUターン、酒造りに参画。能登半島地震で酒蔵が全壊。現在は全国の酒蔵との共同醸造による酒造りを続けながら、能登での酒蔵再建を目指し奮闘中。



合同会社焼塩イミー CEO
北村 優斗

長野県出身。ZEN大学2年生。高校時代、ゴミ拾いイベント「清走中」をフジテレビ公認事業として展開。震災後、能登に魅了され珠洲市に移住し、地域商社事業を展開。



一般社団法人NOTOTO. 共同代表
安江 雪菜

金沢市出身。「計画情報研究所」代表取締役社長。輪島市門前でのランドリーカフェやテックハブ運営等、奥能登で多様性を大切にする社会づくりを目指す。



岩手県陸前高田市
認定NPO法人SET 副理事長
石渡 博之

神奈川県出身。陸前高田の被災地支援に携わり、2017年移住。大学生向け滞在プログラムの運営や官民連携事業等を手がけ、現在は他地域での関係人口創出事業に取り組む。

※日時、内容、出演者等は予告なく変更する場合がございます。

能登デスクさんと行く!

能登のいまとこれからの見つめる

日帰りスタディツアー

- 日 時／10月30日(金) 8時～18時30分(金沢駅発着)
※和倉温泉駅からの参加も可(10時集合)
- 定 員／30名(申込多数の場合、抽選)
- 参加費／無料(昼食代1,800円は自己負担)

【注意事項】

本ツアーへの参加を希望される方は、以下の事項についてご了承ください。
また、詳しいツアーの内容や留意事項は、WEBフォームからご確認ください。
●翌日開催のシンポジウムと合わせてご参加いただける方が対象です。
●ツアー終了後のモニターアンケートへ回答いただける方が対象です。
●当日は主催者や主催者が委託する事業者等による写真・動画撮影を実施します。撮影した画像等は、主催者の広報活動に使用させていただく場合がございます。



【行程(予定)】金沢駅→和倉温泉→震災語り部観光列車(和倉温泉駅→穴水駅)→のと里山ポケモン・ウィズ・ユース空港／NOTOMORI(昼食)→出張輪島朝市(輪島ワイブラザ)→白米千枚田→道の駅すず塩田村→金沢駅

「シンポジウム」「日帰りツアー」

WEBフォームから
お申し込みください!

【お問い合わせは】

Tel.076-262-2611

復興祈念シンポジウム受付事務局
(ケイ・シー・エス内)
○平日のみ10:00～18:00

申込期限／2026年9月30日(水)



<https://e-ve.event-form.jp/event/140294/notosympokanazawa>